

事務事業名	芳賀地区広域行政事務組合し尿処理参画事業				担当	市民生活部 環境課 清掃係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	3	広域行政・地域連携の充実				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠	芳賀地区広域行政事務組合規約					☒ 単年度繰返（開始年度 昭和41 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	2. 清掃費	3. し尿処理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	し尿処理は、昭和41年から芳賀都市清掃所で開始し、昭和46年4月に芳賀地区広域行政事務組合が発足して実施している。 なお、昭和57年度からのし尿処理は、第2クリーンセンターで行っていたが、平成25年度から受付け業務は、第1クリーンセンターで行っている。負担金は、処理実績に応じて構成市町で負担している。 平成29年度真岡市負担率 37.9148%（H27.11～H28.10実績）								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 ・負担金支払事務 30年度計画 ・前年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア 負担金額	千円	96,068	84,104	82,102	68,946	91,739
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・芳賀地区広域行政事務組合が、芳賀郡内の住民を対象に実施している	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア 芳賀管内のし尿処理運営費	千円	237,397	211,826	209,272	181,845	238,937
	イ 芳賀管内のし尿収集件数	件	36,516	34,426	33,692	31,876	30,526
	ウ 芳賀管内のし尿処理量	k?	29,826	29,946	31,595	29,867	28,602
	エ						
	オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・し尿処理事業の円滑な運営を図る	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア 市のし尿収集件数	件	15,189	13,831	13,624	12,717	12,026
	イ 市のし尿処理量	k?	10,971	11,306	10,147	11,414	10,794
	ウ						
	エ						
	オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・良好な生活環境の向上	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア し尿収集が良いと感じている市民の割合	%	75.7	80.1	82.7	80.3	81.0
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						

(2) 総事業費の推移				単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	96,068	84,104	82,102	68,946	91,739
			事業費計 (A)	千円	96,068	84,104	82,102	68,946	91,739
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	4	4	4	4	4	
		人件費計 (B)	千円	17	17	17	17	17	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	96,085	84,121	82,119	68,963	91,756	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・し尿処理を効率よく適正に処理するため、昭和41年度から構成員として参加したものである。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・公共下水道供用開始、合併浄化槽及び、農業集落排水の普及により、水洗化率が年々高くなってきているので、汲み取りは減少傾向にある。 ・平成25年度より、汲み取りの申し込みは第1クリーンセンターになった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	